

## ジョブターン応援団企業訪問 Vol.3

### ～ 幸和農園・就労サポートセンターこうわ ～

今回は、職場体験・ジョブトライアルツアーで何度もお世話になっています  
沖縄市知花「東南植物園」近くにある幸和農園・就労サポートセンターこうわを訪問させていただきました◎



代表の山口喜美子さんにお話を伺いながら、約 4000 坪の広大な敷地内を見学させていただきました。

幸和農園では、ビニールハウスの中で花や野菜、多肉植物を栽培し幸和ガーデン、県内・県外へと出荷しています。「沖縄市の花いっぱい運動」や海洋博公園で毎年開催されている「花のカーニバル」等様々なイベントへの協力、出展等を行っておられます。



青空が広がる外から 一転

ビニールハウスの中は、数え切れない種類の花々に溢っていました。

この何万単位という大量の苗を植えたポットに水やり作業を行っておられました。



山口さんが以前「この作業が大好き。ひとつひとつ必要な水の量も違うんですよ。」とおっしゃっていましたが・・・この日も変わらず優しく、丁寧にひとつひとつのポットに愛情をこめて水やりを行っていました。どのお花もイキイキとしていて元気をいただきました。



野菜を栽培しているビニールハウスでは、トマトの実がたくさん実っていました。今年も、特別暑い日が続きトマトもお疲れ気味とのことでしたが・・・とても甘くて美味しかったです☺



また、同じ敷地内には「就労サポートセンターこうわ」もあり、こちらは就労継続支援 A 型事業所と就労継続支援 B 型事業が行われています。ジョブカフェの利用者さんが指導員の職場体験でお世話になっています。

山口さんは、以前から「幸和」の意味であるしあわせの和をモットーにされておられます☺ ご多忙な中でも やりたかった福祉の事業にも携わり、日々就労されておられる方をどのように育てていくかをいつも

A 型事業所では、花や野菜、多肉植物の生産活動等を行っています。

B 型事業では花や多肉植物に関する小物雑貨や小物雑貨等の作成や野菜の仕分け、袋詰めを行っています。こちらで作られている作品を一つ紹介しますね。鉢もペイントして多肉の寄せ鉢です～☺



最後に代表の山口さんについて少しだけ・・・

花づくりを仕事にするとは考えてもいなかった山口さん

結婚当時、住んでいた家が鬱そうとしていたため 明るくしたいとの思いから花を植えようと思ったそうです。その時、苗は高価なので種を植え 花が咲き その花を売らないかというお話をいただき 小さな畑からすこしずつ大きな土地に ビニールハウスに そして今の広大な土地にと・・・

事業を始めたのは 32歳で幼いお子さんも 3人育てながらだったそうです。

事業が大きくなっていく時にも「悩むよりも行動をしていたので 不安を持つ暇がなかった。」ともおっしゃっていました。

3人の子どもたちには、忙しくなってからはいつも構ってあげることはできなかったけれど

「行事だけは全て参加すると決めて実行したそうです。そして3人それぞれの道を歩ませた後 現在は、3人が自分の意志で山口さんと共に事業に参加されているとのこと。

また、山口さんは、自分で専門誌も楽しく勉強し

なんとご自分で「ちゅらびんか」と名付けられた日々草を開発されました。

かわいい花々には、それぞれお子さんやお孫さんの名前が付けられています。

年中美しい花が咲いている環境の中 職場体験で沢山のことが学べることは

勿論、山口さんのお話しをお聞きするだけでも とても豊かになれるそんな今回の訪問でした(^^♪

お忙しい中、ご協力くださった山口さん、幸和農園、就労サポートこうわの皆さん有難うございました。